

平成 17 年度県民モニター第 2 回アンケート調査（テーマ：県民交流広場事業）
結果の活用状況等について

コミュニティに対する認識

回答者の 9 割が「コミュニティは重要」と考え、「将来的にも重要である」も 6 割を超えるなど、コミュニティの重要性に対する認識は非常に高い結果となりました。

一方で、生活様式の多様化等によりコミュニティ活動への参加は活発とは言えない状況です。今後、少子高齢化、県民ニーズの複雑化、行政サービスの効率化等により、コミュニティの果たすべき役割はますます増大すると考えられ、「県民交流広場事業」を展開することにより、コミュニティの再生・構築をめざします。

事業展開に必要な人材の確保

県民交流広場を活用した活動を活発にするための重要な事項として、「企画提案の中心となるリーダー」、「人や活動を結びつけるコーディネーター」など人材の重要性を指摘する意見が多く寄せられました。

平成 16,17 年度に実施したモデル事業の検証においても、モデル地域住民から同様の意見が多くあがっており、担い手である人材の確保・養成は広場事業の展開にあたって非常に重要な課題であると考えます。

人材の確保・養成について地域自らが工夫することを期待するとともに、県としては、17 年度に実施した人材の確保・養成方策の調査の成果を、事業展開のための留意点を記載したガイドブック等で紹介するほか、18 年度は、各分野の専門家や先進地域リーダー等の派遣、事業の立ち上げ等に対して助言を行うアドバイザー（コミュニティ応援隊）の派遣、広場同士や広場と支援者とのネットワークづくり、シニア世代の広場への参画支援など、人材の確保・養成への支援を行います。

広場における企画づくり、活動内容の充実

県民交流広場事業を充実させ、コミュニティ活動を活発にするためには、目標や整備・活動内容などの「企画づくり」が重要との回答が 4 分の 1 を占め、最も多くなっています。

また、活動を活発にし、多数の参加者や幅広い世代の参加を促すためには「誰もが参加したいと感じる魅力ある活動内容」、「活動に関心を持ってもらうための広報の充実」、「住民意向の企画づくりへの反映」、「目標設定とその共有」等が重要との意見が多く寄せられました。

当事業の趣旨であるコミュニティの再生・構築のためには、地域住民の主体的な活動が充実・発展し、継続していくことが重要です。

地域における広場事業の「企画づくり」、「組織づくり」、「施設の整備・運営」、「活動の展開」等は、実施地域の主体的な企画提案に基づくため、県としては、事業全体の広報を各種媒体を通じ積極的に行うとともに、各プロセスごとの効果的な進め方やポイント、先進地域の事例を紹介したガイドブック等を活用しながら、県民局に配置する専任スタッフが相談・フォローを行う等、地域における企画づくりや活動内容の充実へのきめ細かな支援を行います。

実施地域において、企画づくりを行う初期の段階で、活動助成金の効果的な活用や会費・参加料の徴収、他の助成制度の活用など運営資金の確保方策や財政的な自立方策について地域ぐるみで話し合い、方向づけていくことが肝要と考えます。

事業の広報の際に、ガイドブック等普及用刊行物の配布やアドバイザー（コミュニティ応援隊）の派遣等を通じて、活動継続に向けての先進事例やアイデアなどを提示するとともに、実績報告のチェックや助成金交付時にアドバイスを行う等、必要な支援を行います。

事業の検証、見直し

県民交流広場事業の取り組みの全般について、多くの意見・提案をいただきました。

平成 17 年度まで、2 カ年に亘るモデル事業の検証を行いました。本格実施においても、実施地域自らの評価や、地域・市町からの県への提案などを把握する等、事業の点検を毎年度行うこととしており、より適切な事業の推進を図っていきます。